

学術フォーラムの概要について（事後報告）

1 名 称：人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス
新型コロナ感染収束後の社会のために

2 日本学術会議以外の共同主催団体等：
・後援：スポーツ庁

3 開催日時：令和2年6月18日（木） 13時30分～17時00分

4 開催場所：オンライン開催

5 開催趣旨：

本フォーラムでは、スポーツ庁からの依頼により組織された、科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する委員会から、審議依頼への回答を手交します。その後、障害者のスポーツ参画や、プロスポーツ選手のセカンドキャリアを含む、スポーツによって引き起こされる障害について話題提供を行います。また、「人生におけるスポーツの価値と科学的エビデンス」をテーマに、パネルディスカッションを行います。

6 参加人数：

講演者等：15名

その他の参加者：約660名（YouTube最大同時接続数：623、再生回数：2,115）

7 特記事項：

記者会見（20名の記者参加）、手交式、学術フォーラムを連続で開催し、手交式は学術フォーラムの一部として多くの方に参加いただきました。また、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、一般参加者はYouTubeによるオンライン配信への参加、登壇者は8名が学術会議にて、7名がWebexで参加しました。

講演では、元アスリートからアスリートとしての体験談や引退後のキャリアについて、科学者からはエビデンスに基づくスポーツの推進や障害者の当事者研究、eスポーツの要素であるゲームが抱える依存問題について講演いただきました。パネル討論では、ポストコロナ社会に焦点をあて、コロナ感染を原点に戻って様々なことを考えるよい機会と捉えて従来とは異なる価値を見いだせることや、スポーツが果たす役割やについて議論を展開しました。